

# 令和2年度事業結果

公益財団法人川崎市消防防災指導公社

## 1 防火防災に関する普及啓発事業

### (1) 地震体験車による防災意識の普及啓発

川崎市受託事業として、地震体験車2台を運用管理し市内町内会・自治会・事業所・教育関係施設及び各区イベント等において、地震体験等による地震災害時の防災知識の啓発を図りました。

実施回数 112回 体験人数 13,315人

### (2) 応急手当普及啓発活動事業

川崎市受託事業として、市民救命士の養成及び川崎市患者搬送業務認定に関する各種救命講習を行い、住民に対する応急手当意識の普及啓発を図りました。

実施回数 154回 受講者数 2,855人

(内 訳)

心肺蘇生法講習	18回	325人
普通救命講習	115回	2,087人
上級救命講習	14回	337人
応急手当普及員講習	2回	26人
応急手当普及員再講習	2回	40人
応急手当指導員再講習	2回	29人
患者搬送乗務員定期講習	1回	11人

### (3) 火災予防用防火ポスター等の作成配布

春・秋季火災予防運動等、年間を通じて活用できる火災予防ポスターを6,800枚作成したほか、住宅用火災警報器の設置促進、放火防止用啓発及び地震体験車の紹介チラシ2,500枚等を作成配布して消防局の開催する各種行事に協力しました。

### (4) 消防協力団体に対する支援事業

川崎市防火協会連合会の活動への支援等を行いました。

### (5) 普及啓発物品の作成配布及び予防広報活動の実施

缶バッチ作成マシンにより作成した両面キーホルダー200個を、各消

防署で開催するイベントにおける普及啓発用物品として配布し消防局行事に協力しました。

#### (6) 防火相談事業

市民及び事業所関係者からの火災予防、消防用設備等消防に関する各種の相談及び住宅用火災警報器の設置に関する相談・助言を行いました。

### 2 各種講習会事業

次の講習会を実施しました。

#### (1) 一般財団法人日本消防設備安全センター受託事業

ア 自衛消防業務新規講習	10回	受講者	332人
イ 自衛消防業務再講習	5回	受講者	186人

#### (2) 一般財団法人日本防火・防災協会受託事業

ア 甲種防火管理新規講習	10回	受講者	903人
イ 甲種防火管理再講習	1回	受講者	110人
ウ 甲・乙同時防火管理新規講習	3回	受講者	255人
エ 防火・防災管理新規講習	7回	受講者	620人
オ 乙種防火管理講習	2回	受講者	188人

#### (3) 一般社団法人神奈川県危険物安全協会連合会共催事業

ア 危険物取扱者試験受験準備講習	2回	受講者	61人
合計	40回	受講者	2,655人

### 3 アクアライン消防活動支援事業

(1) 東京湾アクアラインの消防活動対策について、NEXCO東日本との業務協定に基づいた消防車両及び資機材の保守管理業務を行うとともに、50ミリホース10本、二股分水器2基、ガンタイプノズル2基、絶縁工具2セット等の消防・救急活動資機材等を新規配備しました。

(2) トンネル防災設備等の視察者に対して、施設の概要説明等を行いました。  
実施件数 3回 視察者63人

### 4 その他

(1) 全国消防防災事業団体協議会の総会及び実務研修会等において、新型コロナウイルス感染拡大に伴い書面会議で参加し、各実施事業における情報交換を実施しました。

(2) 令和2年度と平成30年度との業務実績比較表

講習名等		令和2年度 (A)	平成30年度 (B)	増減 (A-B)
地震体験車	回数	112	216	-104
	人員	13,315	28,038	-14,723
救命講習	回数	154	332	-178
	人員	2,855	7,368	-4,513
防火管理講習 (甲種・防火防災・ 乙種等)	回数	23	25	-2
	人員	2,076	4,174	-2,098
自衛消防業務講習 (新規・再講習) 防火対象物点検資格 者再講習	回数	15	21	-6
	人員	518	980	-462
危険物取扱者試験 受験準備講習	回数	2	3	-1
	人員	61	138	-77

(3) 各講習会における新型コロナウイルス感染防止対策について  
各講習等は、下記の感染予防対策を講じて開催しました。

- ・受講定員の減員
- ・講習実施方法の変更
- ・手指消毒、
- ・机、手摺り等の消毒
- ・マスク着用
- ・検温
- ・体調管理アンケートの実施
- ・講習室内の換気
- ・講師用アクリル板の設置
- ・実技訓練を実施する受講生全員にフェースシールド・プラスチック手袋の支給